

県中農林ニュース

ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動ニュース



☆3ページで紹介しているプレゼントのイメージ☆

第19号（令和2年8月31日発行）

～目次～

○GAPについて	P.1-2
○農林業関係の動き	P.3-7
○頑張る農林業者	P.7
○おいしい6次化商品	P.8
○各部・各普及所の紹介	P.9
○お知らせ	P.9

編集・発行 福島県県中農林事務所

特集 GAPについて

GAP（ギャップ）とは、Good（良い） Agricultural（農業の） Practice（やり方）の略語で、農業生産工程管理と訳されており、①農作業のルールを作る、②ルールに沿って作業を実践・記録、③点検・評価を行う、④次の生産に向けて見直し・改善を行う、以上の①～④を繰り返す持続的な改善活動のことをいいます。

GAPを導入することで、食品安全・環境保全・労働安全の確保を図ることができます。また、東京オリンピック・パラリンピックの選手村で提供される食材は、GAPでの生産が基準となるため、GAPを取得することは、福島県の農産物のおいしさを広くPRすることができるチャンスにもなります。

県では「ふくしま。チャレンジ宣言」を行い、県を挙げて「GAP日本一」を目指しています。



FGAPマーク

FGAP（ふくしま県GAP）とは、放射性物質対策を含めた福島県独自のGAP制度

FGAP取得者 須藤農彩園の須藤佳英さん

郡山市の須藤農彩園の須藤佳英さんは、7月7日にトマトとミニトマトで認証を受けました。須藤さんは、「取得に向けて、農薬の管理など一緒に作業を行う家族の意識改革から始めた。安全な農業に取り組み、今後は地域の担い手として貢献していきたい。」と話してくださいました。

須藤さんは、平成29年度に就農し、今回認証を受けたトマト・ミニトマトの他に水稲や醸造用ブドウをはじめとした多彩な作物を栽培しており、今後も追加での認証取得を目指しています。



〔 須藤佳英さん（右）
家久来県中農林事務所長（左） 〕

〔 須藤さんご家族が協力して
安全に育てたおいしいトマト 〕



GAP 認証取得に向けて取り組む生産者の紹介

■有限会社酒井養鶏場

浅川町の有限会社酒井養鶏場では、「平飼いたまご」の認知度の向上と社内の士気高揚を期待し、卵での東京オリンピック・パラリンピック出場を目指すこと（採卵鶏でJGAPを取得し選手村へ食材提供すること）を決意しました。

GAPの取得後は、従業員の方々にGAPの考え方を浸透させ、農場運営の継続的改善を軌道に乗せることが目標です。

常務の酒井宏典さんさかいひろのりご自身も、GAPの取り組みを通して社員教育手法の改善など、経営者としてのスキルアップにつなげたいと考えています。昨年12月には、GAP取得チャレンジシステムの認証を取得しており、続けて、今年度内のJGAPの取得を目指しています。



〔 鶏とふれあう酒井宏典さん 〕

■大野農園株式会社

石川町の大野農園株式会社では、今年度内のGLOBALG.A.P. 認証取得を目指しています。

「生産物の安全・安心を客観的に説明できるツールとしてGAPを取得し、さらなる販売促進につなげる」ことを目指し、昨年冬から準備を開始しました。

また、大野農園で

は多くの果樹を栽培していますが、「梨の認知度が一番低いので、認証取得を機に販売促進を行いたい。」と、現在は桑折町のはねだ桃園にコンサルティングをお願いし、準備を進めています。



〔 写真左：果実品質を確認する代表の大野栄峰さんおおのよしただか、右：梨園の様子 〕

■GAP取得者の農産物が購入できるお店を一部ご紹介します！

【須藤農彩園 須藤佳英さん】トマト(おのげんき(小野町)、ヨークベニマル横塚店・金屋店(郡山市)ほか)【『果物畑』鈴木果樹園】桃・梨・りんご(『果物畑』鈴木果樹園直売所(須賀川市)) 【古殿ミニトマト生産部会】ミニトマト(道の駅 おふくろの駅(古殿町)) 【TAKE 渡邊広さんていく わたなべひろむ】しいたけ(シミズストア船引パーク店・常葉店(田村市)・本宮店(本宮市)、グラントマト田村船引店(田村市)、ふあせるたむら(田村市)、JA農産物直売所 愛情館(郡山市)、ヨークベニマルメガステージ田村店(田村市))

☆ 最近、スーパーでもGAPのシールが貼ってある商品を見かけることが増えました。

皆さんもぜひ、GAPの商品を見かけた際は、ぜひ手に取ってご賞味ください！

～農林業関係の動き（トピックス）～

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン県産農林水産物PRを実施しました！（第1回&第2回）【企画部】

県産農林水産物の消費拡大及び販売促進のため、「第三者認証GAP」をテーマとして各回100名の消費者を対象にPR活動を実施しました。

第1回は7月18日に道の駅ひらた（平田村）において、JGAPを取得した農事組合法人グリーンファーム九生滝^{くりゅうだき}のアスパラガスと道の駅ひらたオリジナルのアスパラガスソフトクリーム（引換券）をプレゼントしました。

第2回は8月6日にJA福島さくら農産物直売所ふぁせるたむら（田村市）において、JGAPを取得したJA福島さくらたむら地区トマト専門部会のトマトと田村地域産農産物を使用したジェラート（引換券）をプレゼントしました。

そのほか、各回共通で農林水産物クイズやレシピの配布を行いました。同時に、「GAPを知っているか」アンケートを実施したところ、第1回目では約73%、第2回目では約37%の人から「知っている」と回答がありました。



第3回目 開催日：9月25日（金） 場所：はたけんぼ（須賀川市）
皆さまのご来場をお待ちしています！

ふぁせるたむらでの
トマトプレゼントの様子

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン県中地方特産品等プレゼント（第1期）を実施中です！【企画部】

県産農林水産物の美味しさや安全性をPRし、消費拡大と地産地消を推進するため、県中管内の22常設直売所における購買者を対象としたプレゼント企画を実施中です。今年度は必ずもらえるプレゼントもご用意していますので、皆さんぜひご応募ください！

（1）応募期間

第1期 令和2年 8月1日（土）～9月30日（水）

第2期 令和2年10月1日（木）～11月30日（月）

（2）応募方法

対象直売所又は郡山合同庁舎入口に備えてある応募用チラシに、お買い物時のレシートを貼付け、県中農林事務所企画部に郵送またはご持参ください。※

（3）景品

抽選で各期30名、計60名の方に「GAP農産物等県中地方特産品詰め合わせ」または「農体験チケット」の選べるプレゼントを贈呈するほか、管内4方部（各方部1店舗以上）でお買い物をした方にはもれなく「6次化商品等のプチギフト」をプレゼントします！

※ チラシは下記HPからもダウンロードできます。対象直売所はチラシの裏面に掲載がありますので、ぜひご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/ki-r2oisiicampaign.html>



〔キャンペーンチラシ〕



〔プレゼント特産品（詰合せ）イメージ〕

令和2年度第1回県中地方・地域産業6次化ネットワーク交流会、令和2年度第1回県中地方・地域特産品創出クラスター分科会を開催しました！ 【企画部】

8月21日、県郡山合同庁舎(郡山市)において、第1回県中地方・地域産業6次化ネットワーク交流会と県中地方・地域特産品創出クラスター分科会を開催し、41名の参加がありました。

交流会では、いわきユナイト株式会社植松謙^{うえまつけん}代表取締役より、「いま求められるマーケティングの考え方について～コロナ禍に必要な鳥の目、虫の目、魚の目～」を演題にご講演いただき、コロナ禍にある今、6次化商品をどのように売るか、どのようなサービス展開をすべきかを学びました。

クラスター分科会では、昨年度当事業で開発した商品の完成発表と、今年度の商品開発テーマの発表を行いました。今年度のテーマは、①認証GAPを取得した農産物を使用した商品、②外国人もターゲットにした商品の2つです！今年度は2事業者の商品開発を支援し、売れる6次化商品開発を目指します。

また、終了後には6次化サポートセンター主催の個別相談会も開かれました。



〔 講演の様子 〕



〔 令和元年度クラスター分科会開発商品
(いちごジュースといちご羊羹) 〕

県産農林水産物の販売促進活動の取り組みについて 【企画部】

県では、市町村や県内各地域団体等が、国内で実施する県産農林水産物の販売促進活動等に対して支援を行っています。

今回は、一般社団法人食大学を紹介します。食大学は6月から12月まで毎月1回、柏屋 開成柏屋(郡山市)の中庭と、7月及び10月に通称 郡山表参道(郡山市)にて、生産者自らがPRし販売するブースを設けたマルシェを開催しています。毎回13ブース程出店し、朝採りたての新鮮な農産物や加工品等を求めて、たくさんの方が来場し、生産者との交流を図りながら商品を購入されています。

皆さんも、マルシェに「来て」「見て」「味わって」みてはいかがでしょうか。お気に入りの食材等に巡り会えるかもしれませんよ！



〔 柏屋 開成柏屋の中庭の様子
(通称 開成マルシェ) 〕



〔 生産者の話を聞きながら色とりどりの野菜を手にとるお客さん 〕

ピーマンの出荷が最盛期を迎えています！

【田村農業普及所】

田村地域（田村市、三春町、小野町）は、県内のピーマン出荷量の8割以上（全農実績）を誇るピーマン産地です。田村地域で栽培されているピーマンは「さくらのピーマン」として、県内外へ出荷されています。「さくらのピーマン」はすべて「みおぎ」という品種で、実が柔らかく、苦みが少ないのが特徴です。

今年は梅雨が長く、日照不足であったことから、ピーマンの生育への影響が心配されましたが、適度な気温が確保されていたため、生育は良好で、現在出荷の最盛期を迎えています。旬を迎えたさくらのピーマンを見かけた際は、ぜひ手に取ってご賞味ください！



〔 収穫間際のピーマン 〕



〔 J A福島さくらのピーマンのパッケージ 〕

J A福島さくら郡山地区梨共同選果場開所式が開催されました。 【農業振興普及部】

8月21日、J A福島さくら郡山地区梨共同選果場（郡山市熱海町）において、選果場の開所式が行われました。

宗形J A福島さくら郡山地区本部長理事を始め、郡山市長、県等の関係者出席のもと、安全な選果作業が行われること、またおいしい梨が消費者に届くことを祈念し、選果場の開所を祝いました。

また開所式終了後、今年最初の「幸水」の選果が行われ、光センサーにより甘みのそろった、よりすぐりの梨が県内外へと出荷されました。

郡山市では、明治時代から梨の栽培が開始され、現在は「幸水」、「豊水」の品種を主体に栽培されています。市場より高い評価を得ており、近年は海外へも輸出されています。

今年は、7月の長雨・日照不足による果実品質への影響が心配されましたが、生産者の皆さんの日々の管理により、とても甘く、品質の良い梨ができあがりました。

生産者の皆さんの愛情をたくさん受けて育った郡山の秋の味覚をぜひお楽しみください。



〔 梨（幸水）の選果初日の様子 〕



〔 生産者・J A福島さくらの皆さんが
家久来県中農林事務所長を表敬訪問
されました。（8月28日） 〕

令和2年度 畑の学校2回目を開催しました。

【農村整備部】

「畑の学校」は、『農育』の推進を図るとともに、子どもたちとの交流を通じて地域住民等の活動を活性化させることを目的として、2年前より福島県立たむら支援学校（田村市船引町）において実施しています。

6月12日に開校式を行った今年度の「畑の学校」ですが、梅雨の晴れ間7月13日に2回目の畑の学校を開催しました。

開校式に種をまいて育った「にんじんの苗」を畑に植える班と、「白菜の種まき」をする班に分かれて農業体験をしました。

今後は11月までの期間に、大根の種まき、育てた野菜を収穫して調理するなど、3回の活動を行う予定です。

子どもたちは皆楽しそうで、収穫も楽しみにしているようでした。



〔 にんじんの苗植え
に真剣です！ 〕



〔 先生に見守られながら、白菜
の種まき、上手にできました。 〕

令和2年度郡山農業普及推進懇談会を開催しました。【農業振興普及部】

7月31日に県林業研究センター（郡山市）及び現地ほ場にて、令和2年度郡山農業普及推進懇談会を開催しました。

郡山市指導農業士会、郡山生活研究グループ連絡協議会、県普及指導協力委員をはじめ、郡山市、JA福島さくら郡山地区本部及び県関係機関が出席し、令和2年度普及指導計画や普及活動に対する意見や要望をいただきました。

また、普及活動の取り組み事例として、作物担当普及指導員が、「新たなブランド米の確立」として、米の県オリジナル新品種「福、笑い」及び郡山市ブランド米「あさか舞」の最高級ブランドである「ASAKAMA I 887」の生産拡大に向けた取り組みについて説明し、現地ほ場では、生産者より栽培取り組み経過や今後への期待等について、お話をいただきました。

当部としても、今回いただいたさまざまな意見や要望を、今後の普及活動に生かしていきます。



〔 林業研究センターにて意見交換 〕



〔 「福、笑い」現地実証ほ、
「ASAKAMA I 887」ほ場視察 〕

稲WCS生産・調製・利用技術向上セミナーを開催しました！

【須賀川農業普及所】

7月27日に、稲WCS(稲を発酵させた牛の飼料)の品質向上を目的に、セミナーを石川町沢田自治センターで開催し、農業者やコントラクター組織(自給飼料生産等請負組織)、関係機関など46名の参加がありました。

セミナーでは、良質な稲WCSを生産するためのポイントや、稲WCS専用品種(極短穂茎葉型)の特徴について、山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センターの浦川修司教授うらかわしゅうじや国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の遠野雅徳主任とのおまさのり研究員より講義をいただきました。講義後は、昨年埼玉県内で収穫・調製された専用品種「つきすずか」の稲WCSのロールを開封するとともに、今年度石川町内で試験栽培している専用品種「中国飼224号」、「中国飼225号」(どちらも極短穂茎葉型)の生育状況を見学しました。

参加した方からは、開封した稲WCSロールの品質の高さや試験栽培ほ場の生育に関心を持たれている様子がみられたとともに、当地域での稲WCS生産に生かしていきたいとの声が聞かれました。



〔石川町での現地見学の様子〕



〔ロールを開封したところ〕

～頑張る農林業者～

■青年農業士 よしだしんじ 吉田真治さん(須賀川市)

吉田さんは、須賀川市森宿地区で水稻+夏秋きゅうり+施設きゅうりによる農業経営を行っています。

水稻は6ha栽培しており、地元のライスセンターの運営にも携わっています。現在、森宿地区ではほ場整備も進められており、地域で連携した営農を行っています。

きゅうりは、夏秋はネットではほ場全体を囲う防虫ネット栽培(5月～10月)を行っており、施設では促成栽培(2月～6月)と、抑制裁培(7月～12月)といった計3つの作型で栽培しています。

また、新たな技術として環境制御装置を取り入れ、きゅうりの生理生態に合わせた環境(温度、CO₂濃度など)のコントロールに取り組んでおり、若手生産者で構成する環境制御研究会でも中心的に活動するなど、栽培技術の研鑽に意欲的に取り組まれています。



〔吉田さんと施設きゅうり〕

おいしい
6次化商品

ふくなかすいーつ消費拡大キャンペーンがはじまりました！

当事務所では、県中地域や福島県産の農産物を使用して県中地域で作られたお菓子を「ふくなかすいーつ」と呼んでいます。現在、ふくなかすいーつのキャンペーンを実施していますので、皆さんぜひ、おいしい農産物をたくさん使用したふくなかすいーつを味わい、そしてプレゼントをゲットしてください。

たくさんのご応募をお待ちしています！

内 容 キャンペーン協力店で商品をご購入いただいた方の中から、抽選で40名(各期20名)にふくなかすいーつなど県中地方のお菓子の詰め合わせ(3,000円相当)をプレゼントします。

応募方法 税込合計金額700円を1口とする対象レシートを各協力店に備え付けてある応募チラシに貼付し郵送ください。

応募期間
第1期：令和2年8月30日(日)～10月31日(土)
第2期：令和2年11月1日(日)～12月26日(土)
※ 当日消印有効です。

チラシは下記HPからもダウンロードできますので、ご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/ki-kenchu6jikanet05.html>

～協力店で取り扱っている

ふくなかすいーつの一部～



(桃のシュークリーム)



(さるなしのジェラート)



(そば粉のワッフル)



(都路産卵をふんだんに使用したプリン)



(青大豆の豆菓子)

	キャンペーン協力店	住所
1	安積野菓子処 平田屋 清水台本店	郡山市清水台2丁目6-6
2	安積野菓子処 平田屋 荒池公園前店	郡山市池ノ台14-17
3	菓子処 ヤナギ屋	郡山市開成4-1-21
4	柏屋 本店	郡山市中町11-8
5	柏屋 開成柏屋	郡山市朝日1丁目13-5
6	柏屋 香久池柏屋	郡山市香久池2丁目242
7	柏屋 八山田柏屋	郡山市八山田1丁目25番
8	柏屋 静御前通り柏屋	郡山市御前南1丁目60
9	菓子処 喜楽堂	郡山市開成4丁目2-16
10	みよし堂	郡山市麓山2丁目12-23
11	安河屋菓子店	郡山市本町2丁目7-10
12	かど屋(神山菓子店)	郡山市中田町高倉字下ノ沢84
13	四季彩菓子アトリエ さとうとバニラと	郡山市逢瀬町多田野字新池下18-6
14	株式会社栄楽館 ホテル華の湯	郡山市熱海町熱海5丁目8-60
15	しぶ菓子店	須賀川市和田道104
16	BON BAKERY	須賀川市緑町121(リオン・ドール須賀川南店内)
17	夢・菓子工房 かめまん 本店	須賀川市西川町46
18	夢・菓子工房 かめまん 仲の町店	須賀川市仲の町186
19	菓子工房あくつ屋	田村市船引町船引字畑添96-1
20	みやこスイーツゆい	田村市都路町岩井沢字道ノ内65-1
21	Kokage Kitchen	田村市都路町岩井沢字道ノ内80-1
22	恵びす屋	石川町字新町12
23	お菓子のさかい 長久保店	石川町長久保277-20
24	お菓子のくわざわ	石川町大字双里字神主20-1
25	菓子工房いわきや	玉川村大字小高字南畷78-3
26	里の菓子処 よしだ	平田村大字上蓬田字下槍雷8
27	TO-FU Cafe おおはたや	三春町西方字石畑253番地
28	三春昭進堂	三春町字新町160-4



(協力店位置図)

～各部・各普及所の紹介～

企画部の紹介

企画部は、部長をはじめ地域農林企画課 5 名、指導調整課 6 名の計 12 名で業務を行っています。

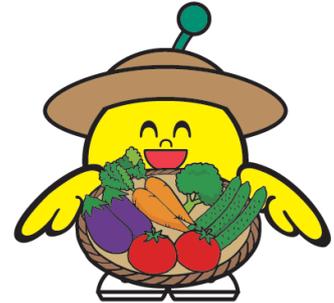
地域農林企画課 TEL 024-935-1510

県産農林水産物の安全性やおいしさを消費者の皆さんにお伝えし消費拡大を図るため、各種イベントでのPR活動や、地産地消、食育、地域産業6次化の取り組みと支援を行っています。また、グリーン・ツーリズム等にも取り組んでおり、農山村の活性化を支援しています。

指導調整課 TEL 024-935-1303

優良農地の確保のため、農業振興地域の整備に関する法律の適正な管理と、農地法に基づく農地転用許可、また、農業協同組合や土地改良区等の農林業団体への指導、適正な食品表示の推進を担っています。

興味がある、詳しく知りたいなどありましたら、お気軽にご相談ください。



～お知らせ～

野生きのこにご注意！！！！

【森林林業部】

秋を迎え野生きのこが発生するシーズンとなりますが、福島県の中通り、浜通りについては、全ての市町村で野生きのこ（全品目）の出荷（一部摂取）が制限されています。

出荷が制限されている野生きのこは、出荷・販売だけでなく飲食店等での提供や加工用原材料としての使用、譲渡はしないでください。

また、自主検査等により食品の基準値（100Bq/kg）以下であっても出荷、販売等はできませんのでご注意ください。なお、県内の野生きのこの出荷制限の状況は、下記福島県林業振興課ホームページで確認してください。



- **福島県林業振興課** **きのこ、山菜類のモニタリングと出荷制限品目・市町村について**

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>

問い合わせ先 森林林業部林業課 TEL 024-935-1367



お問い合わせ
はこちら！

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314